

I 学校の教育目標

自ら考え、判断し、協働的に行動する生徒の育成 ～自尊感情の醸成～

II 育成を目指す資質・能力

言語能力

III 児童・生徒の課題

	学力状況について	学習状況について
児童・生徒	日田市学力調査において2年生は国語、社会、数学は全国比と同等、理科と英語は下回っている。 県学力調査において3年生は国語は全国正答率を上回っているが、そのほかの教科はすべて大きく下回っている。	・家庭学習の習慣や時間に個人差が大きい。 ・少人数であるが個別の支援を必要とする生徒の割合が多く、対話的活動が深まりにくい。

IV 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

・「授業で根拠や理由を明確にし相手に伝えるように表現している」に対し肯定的に答える生徒の割合が60%以上。
・「自己調整能力の向上を意識し、計画性をもち家庭学習等に取り組んでいる」に対して肯定的に答える生徒の割合が60%以上。

V 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	伝え合い、互いの考えを活かしながら学びを深める授業の創造
②授業改善の重点	○教科等で必要な語句・表現の習得 ○伝え合い互いの考えを活かしながら学びを深める授業の工夫(ペア・グループ・ICT)

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	伝え合い、互いの考えを活かしながら学びを深める授業の実施	授業者は、単元に1回以上、ペアやグループ、ICT機器を効果的に使い、生徒の「振り返り」、授業者のフィードバックを共有し、伝え合い、互いの考え学びを深める授業を行う。	○生徒授業アンケートにおいて、支持的風土を基盤とし、根拠や理由を明確にして相手に伝えるように表現しようとする生徒の肯定的割合を50%以上 ○単元テスト、定期テスト等の記述問題の正解率50%	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期				

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

VI 学習定着状況の把握とフォローの取組 および

個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	朝学習・スキルタイムの指導を通じた基礎基本的な知識・技能の定着と読書の推進	・教職員は基礎基本的な知識・技能の定着に向けQubenaやドリル学習等の朝学習とスキルタイムの指導をする。 ・教職員は朝学習の時間に読書(月・金)の指導を行う。	
2学期			
3学期			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VII 学校・家庭・地域の協働の取組 ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
家庭	家庭での自己調整に基づいた学習習慣の確立	保護者は学習習慣の定着を図るため、子どもの家庭学習やメディア使用の様子について学校と情報共有する。	1学期 2学期 3学期
地域	地域と共にある学校に向けての支援	地域の方はオープンスクールや学校行事等を通して学校の取り組みに対して意見や感想を積極的に述べる。	

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 令和6年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和6年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1~4で入力 (達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)

※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数 人	授業を公開した教員の割合	
		7月末時点 %	11月末時点 %

※割合(%)は四捨五入して整数表示

② 管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	2学期	3学期
	※プルダウンで○、×を選択		

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	2学期	3学期
	※プルダウンで○、×を選択		